

日本の社会科学を牽引し、持続可能な未来に向けて架橋する拠点の形成

構想概要

日本の社会科学を牽引して、レジリエントな世界の社会・経済システムの構築に向けた知見と社会イノベーションを創出するとともに、社会の改善を実現するグローバル・リーダーを育成する世界最高水準の社会科学の国際的な研究・教育拠点となる。

世界最高水準の研究拠点の形成

～戦略的重点化領域の研究で世界をリードする～

□強みや勝ち筋を見据えた領域の選択と集中

戦略的重点化7領域：経済学、経営学、会計学・ファイナンス、政治学・国際関係学、心理学、データサイエンス、グローバル・ロー

□徹底したファカルティの改革

(学長主導、規模拡大、質の向上)

□研究者集団としてのHIASの機能強化による加速

(国際人材獲得育成プログラム、文理共創)

□研究支援体制の充実、強化

(事務組織改革、研究支援体制の強化)

社会連携による研究の深化

～研究シーズを社会実装につなげ研究の深化を図る～

□産学連携による共同研究の推進

□四大学連合等との連携による文理共創の推進

改革を支える財務基盤の強化

～自律的な経営基盤を確立する～

□外部資金獲得の強化 (ファンドレイザー、外部コンサルタント)

□学内リソースの再配分機能の強化

世界的視野をもった「Global Captains」の育成

～世界基準の高度専門人材を輩出する～

□ソーシャル・データサイエンス学部・研究科の充実

□高度な研究に基づく教育の進化と深化
(教育成果の可視化、エグゼクティブ・プログラムの拡充)

国際的なプレゼンスの向上

～国際通用性のある教育・研究を実現する～

□SIGMAによる戦略的パートナーシップに基づく国際共同研究の推進

□海外実践教育拠点の形成

□共同ディグリー・ネットワークの構築



国際競争力強化に向けた職員組織の改革

～職員的能力向上により大学の企画・経営力を高める～

□研究支援を主眼とした組織改革 (研究支援体制の充実、URA)

□国際的視野を持った経営人材の育成

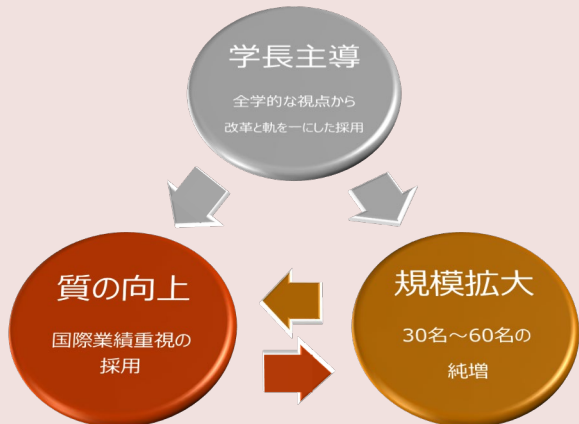
日本の社会科学を牽引し、持続可能な未来に向けて架橋する拠点の形成

研究力強化

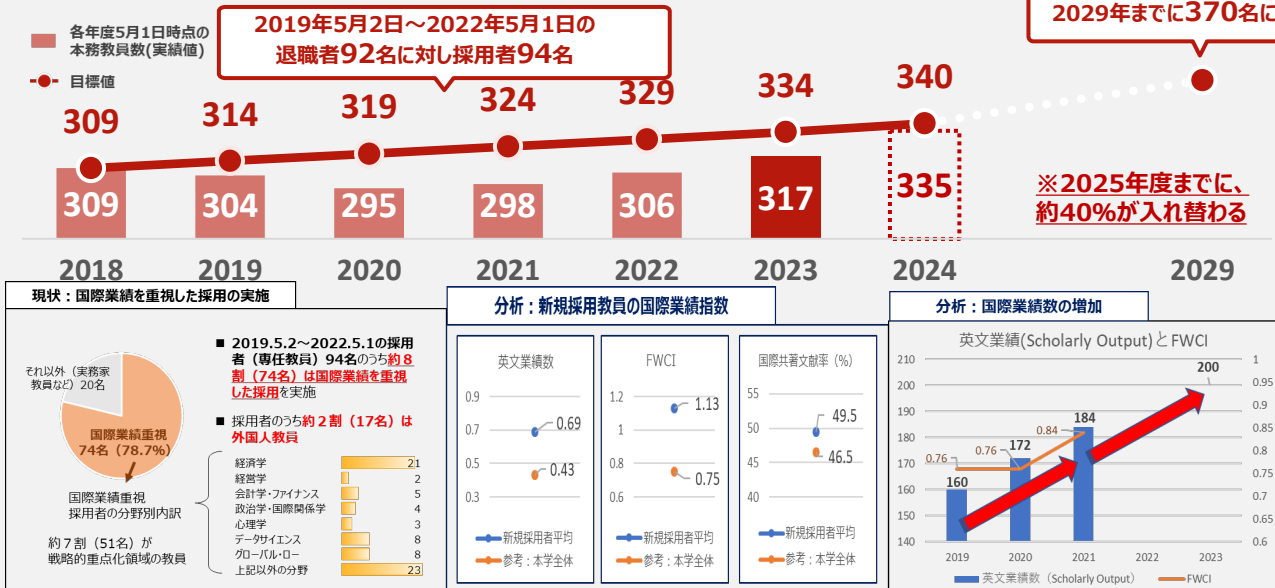
世界最高水準の研究拠点の形成～戦略的重点化領域の研究で世界をリードする～

徹底したファカルティの改革

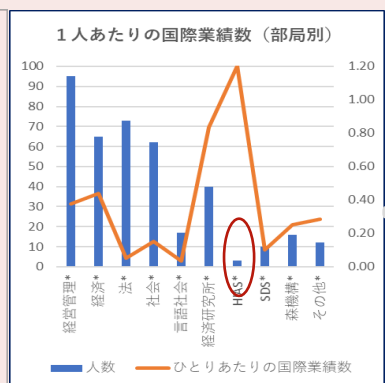
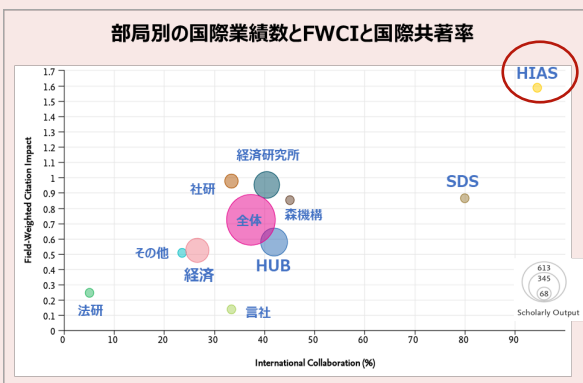
＜国際水準の研究者集団の確立＞



↑ 加速



研究者集団としての社会科学高等研究院 (HIAS) の機能強化 ～国際人材獲得育成プログラム (HIAS BRIDGES) の推進～



HIAS BRIDGES Next (Visiting Scholarship Program)

PD型：ポストドクレベルの**若手研究者を任期5年の特任講師として国際公募により採用。(25名)**

AP型：研究業績を上げつつある若手研究者を**任期5年の常勤講師として国際公募により採用。(20名)**

HIAS BRIDGES Distinguished

著名研究者を特任教授等で雇用・招聘し本学研究者との国際共同を推進

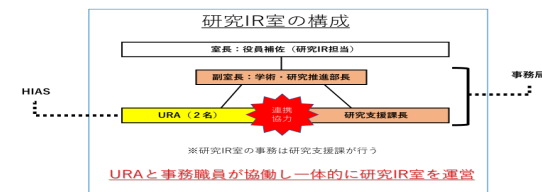
- 研究業績の向上
- 常勤教員として採用：人材育成
- 国内外の研究機関へ：国際ネットワークの構築
- 外部資金獲得：科研費獲得数の増加

組織改革による研究支援体制の充実・強化

① 研究支援課及び研究IR室の設置

② 研究IR担当の専任役員補佐の配置

社会科学の総合大学である本学の学術研究に係る活動を幅広く推進し進展させることを目指して、組織改編を行い「研究IR室」を設置するとともに、事務職員との協働により、高度の専門性をもって研究推進支援の役割を担う「URA」を新たに配置する。



世界最高水準の研究拠点の形成

世界的視野をもった「Global Captains」の育成

～世界基準の高度専門人材を輩出する～

□研究者集団としてのHIASの機能強化 **↑** 加速

～戦略的重点化領域・文理共創の推進～

組織の拡充：戦略的重点化領域に関わるセンターをHIASに新設、移管。

研究者の拡充：新規採用教員の重点配置及び「HIAS BRIDGES」による所属教員の大幅増。

研究の厚みの増強：専任教員に加え、関係教員を研究科と兼務させることにより既存の研究科とのシナジー効果。

文理共創の推進：「データ駆動社会研究センター」をHIASに設置。社会科学の側からの文理共創を加速。本務教員の半数程度がSDSとのコラボレーションが可能。

□ソーシャル・データサイエンス学部・研究科の充実

2021年度からデータサイエンスとデザイン思考を組み合わせた教育プログラム（データ・デザイン・プログラム）をスタート。2023年4月にはソーシャル・データサイエンス（SDS）学部を新設。今後、産総研や四大学連合を活用して文理共創分野を切り開き、本領域での教育プログラムを充実するとともに、SDS学部以外の学部生の関連科目の履修を拡大。

□教育成果の可視化及び評価方法の確立

本学のグローバル教育水準を高め、国際社会で活躍できる深い社会科学的思考力を養う学部教育の完成度を高めるとともに、そこで獲得したスキルを可視化し評価する方法を確立して、国際基準の教育を実践。

（エグゼクティブ・プログラムの拡充）



エグゼクティブ・プログラムをなお一層充実させるとともに、他のプログラムも拡充。また、医療・介護分野の高度専門職業人を育成する医療経済短期集中コースなど、深刻な社会課題に対応する知識ベースを提供できるプログラムを創始しており、社会の課題解決に貢献するなど、新規のプログラムを幅広く開発し、収益を増加。

国際的なプレゼンスの向上

～国際通用性のある教育・研究を実現する～

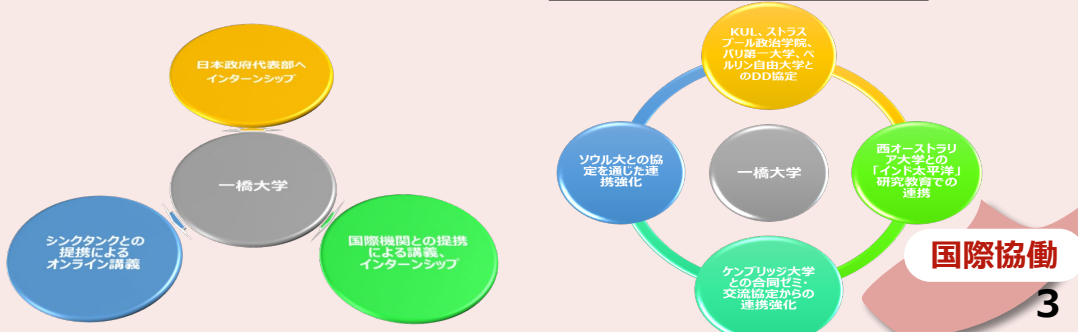
□SIGMAによる戦略的パートナーシップに基づく国際共同研究の推進

□海外ネットワーク及び海外教育拠点の形成

海外トップ大学等とのネットワークを構築し、常に国際環境にさらされる機会の確保することで、本学のプレゼンスの向上及び世界基準の高度専門人材を育成。

（共同ディグリー・ネットワークの構築）

（海外実践教育拠点の形成）



社会科学高等研究院(HIAS)

学長直属の部局横断型組織

脳科学研究センター (2023年7月新設予定)	データ駆動社会研究センター (2023年1月新設)
fMRI、電磁シールド実験室を利用した共同研究 (データサイエンス、心理学)	SDSと一橋社会科学のシナジー効果の最大化 (データサイエンス)
人新世研究センター (2023年7月新設予定)	医療政策・経済研究センター
気候変動など21世紀の地球環境問題をめぐる文理融合・文理共創課題に貢献する社会科学研究を推進 (経済学)	医療経済の高度研究
国際公的統計研究・研修センター (2023年1月新設)	グローバル・ヘルス・カレッジへの貢献
国際機関と連携し、公的統計を用いた研究及び統計の品質向上のための研究を推進	EBPM研究センター
政府機関等の統計作成実務者等を対象とした研修の実施 (経済学、データサイエンス)	地域・中小企業政策研究センター
マネジメント・イノベーション研究センター (2023年4月移管 (経営学))	アジア政策研究センター (2023年1月改組 (会計学・ファイナンス))
グローバル経済研究センター	グローバル・ガバナンス研究センター (2023年4月移管 (政治学・国際関係学、グローバル・ロー))
経営管理研究科	法学研究科
経済学研究科	言語社会研究科
社会学研究科	国際・公共政策大学院
	ソーシャル・データサイエンス研究科
	海外大学等
	外部研究機関



社会連携による研究の深化

～研究シーズを社会実装につなげ研究の深化を図る～

□帝国データバンク、産総研等との連携協定による共同研究の推進

□四大学連合等の連携による文理共創の推進

□民間企業とソーシャル・データサイエンスに関する共同研究やリカレント教育の実施

社会連携



